

## G7財務大臣・中央銀行総裁による合意事項（仮訳）

2011年9月9日

我々は、過去に蓄積した不均衡に起因する、成長、財政赤字、政府債務に関する重大な課題とともに、世界経済の回復に関する新たな課題の時期に会合した。この課題は、金融市場における緊張の高まりに反映されている。現在、世界的な成長の減速の明らかな兆候がみられる。我々は、これらの課題に対する力強く協調のとれた国際的対応にコミットしている。

我々は、金融の安定性を維持し、信認を回復し、成長を支えるため、強固な行動を取りつつある。米国では、オバマ大統領が、中期的な財政の持続可能性を回復するために計画された財政改革と併せた、公共投資、税制上のインセンティブ、及び焦点を絞った雇用対策を通じた、成長と雇用を強化するための相当な規模のパッケージを打ち出した。ユーロ圏は、各国のソブリン債務、及び持続可能な財政状況と構造改革に関する全てのコミットメントを完全に履行することへの確固たる決意を再確認しつつ、金融の緊張に対処するために7月21日に行われた決定、中でも、欧州金融安定ファシリティー(EFSF)の柔軟化を実行しつつある。日本は、中期的な財政健全化のコミットメントを維持しつつ、震災復興のための本格的な財政措置を実施しつつある。

回復のペースと将来に対する不安は、強固で持続可能かつ均衡ある成長を支える、世界規模での協調のとれた努力の必要性を強調している。我々は皆、信頼に足る財政枠組みに基づく野心的で成長に配慮した中期財政健全化計画を策定、実行しなければならない。財政政策は微妙なバランスを取る必要がある。未だ脆弱な回復の性質を踏まえれば、我々は、国により異なる状況を考慮して、経済活動を支援しつつ、財政の健全化を達成するという、困難な道を歩まなければならない。

金融政策は、物価の安定を維持し、引き続き経済回復を支える。中央銀行は、必要な場合に銀行システムに流動性を供給する準備がある。我々は、銀行システムと金融市場の強固さを確保するため、必要な全ての行動を取る。この文脈において、我々は、バーゼルⅢを完全に実施するとのコミットメントを再確認する。

我々は、強固で安定的な国際金融システムが我々の共通の利益であること、及び、市場において決定される為替レートを我々が支持することを再確認した。為替レ

一トの過度の変動や無秩序な動きは、経済及び金融の安定に対して悪影響を与える。我々は、為替市場における行動に関して緊密に協議し、適切に協力する。

我々は、需要をリバランスしグローバルな成長を強化するために、今後数週間において、G20 各国及び I M F とともに働くことを期待している。以前に合意したように、この点において構造改革が重要な貢献を果たす。